

名古屋市教育振興基本計画

平成 27~30 年度



1

計画策定の趣旨

この計画は、教育を取り巻く環境や諸制度の変化に対応し、名古屋市の教育行政の進むべき方向性を明らかにするとともに、その充実に資する取り組みの総合的かつ計画的な推進のために策定するものです。

2

計画の位置付け

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として策定するものです。

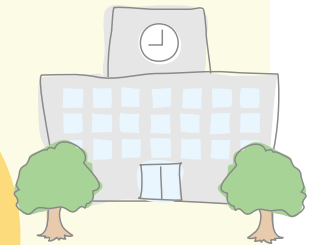
主要な課題

教育を取り巻く現状を踏まえ、この計画における主要な課題として、次の4つを位置付けます。



社会を生き抜く力を備えた
子どもの育成

多様な
教育的ニーズに
対応できる
教育環境の充実



子どもの豊かな
育ちの応援

生涯を通じた
学びへの接続



3 計画の対象

この計画の対象範囲は、「名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階などにおける教育・育成に関する施策」及び「生涯学習全般における学びの支援に関する施策」としています。

4 計画期間

平成27年度から平成30年度までの4年間とします。

計画の基本理念

この計画では、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を基本理念とします。

～この計画がめざす「なごやっ子」像～

- ① なごや(郷土)が大好きで、なごや(郷土)をもっとよくしたいと望んでいる
- ② 豊かな感性と創造力を備える
- ③ 社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
- ④ 人生をたくましく生きる力を備える
- ⑤ 未来への夢を抱き、学び成長し続ける

計画推進に 当たっての視点

この計画を推進するに当たり、次の3つの視点を重視します。

- 「家庭・学校・地域の環」のもと、社会全体で子どもを育む視点
- 子どもの個々の状況と成長段階に応じた途切れることのない支援を行うとともに、生涯を通じた学びへの接続と学んだ成果が生きる好循環を実現する「学びの連続性」の視点
- 子どもたちの一人ひとり異なる個性を尊重しつつ、そのよさや可能性を見つけ、引き出し、伸ばす「子どもの応援」の視点

施策1

個に応じたきめ細かな指導により、基礎基本を着実に身に付けさせるとともに、幅広い学力を伸ばします

めざす姿

子どもたちが基礎基本を着実に身に付け、思考力・判断力・表現力など社会で活躍するための幅広い力を主体的に伸ばしていく

計画期間内に
設定する目標

全体的な学力水準を改善傾向に転換させる

成果指標

「学習意欲」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒の割合
(全国学力・学習状況調査より)

小学校 78.9% → 81% 中学校 71.6% → 73%

施策1の重点的取組

- 学力向上の集中的・総合的な推進
- 世界に通用する人材を育てる市立高等学校づくり



複数の教員で指導するチーム・ティーチング



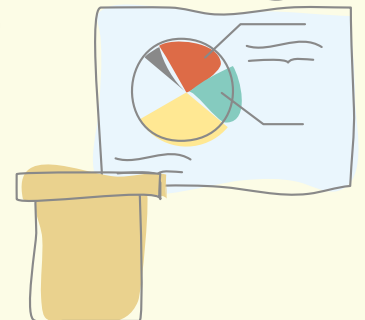
タブレット型PCを使った学習



スピーチ指導での発表



工業高校での有人動力飛行機製作



施策2

人権を尊重し互いの多様性を認め合う心、豊かな創造力や感性、社会の一員としての規範意識や自覚を育みます

めざす姿

子どもたちが一人ひとり異なる個性を認め合い、ともに関わ
り合いながら社会を担っていく
ことを自覚している

計画期間内に 設定する目標

子どもたちの社会的自立に向け
た能力を伸ばす教育を進展させ
るためのロードマップを描く

成果指標

学校生活において友達を思いやる気持ちを持つことができる子どもの割合
83.8% → 90%

●一人ひとりの生き方を応援するキャリア教育の推進

施策2の重点的取組



名古屋人権啓発センターでの車いす体験



陸前高田市中学生との交流



職業体験



夢チャレンジ事業」で書道パフォーマンスに
取り組む生徒



施策3

望ましい生活習慣を身に付けさせ、生涯にわたって健康に過ごすための心身を育みます

めざす姿

子どもたちが健やかな心身を育み、健康でいきいきとした人生を送ろうとする態度に満ちている

計画期間内に設定する目標

より多くの子どもたちに運動習慣を身に付けさせ、全体的な運動能力水準の向上を図る

成果指標

一週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合
(全国体力・運動能力、運動習慣等調査より)
15.3% → 12%



なわとびを通じた体力づくり



スクールダンスサイズに取り組む様子



調理実習を通じた栄養の取り方についての学習



体育・運動部活動での安全指導のための研修会

施策4

特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加に向けた力を育みます

めざす姿

障害のある子ども一人ひとりの状況に応じた支援の体制が整い、将来の自立や社会参加のための力を育てている

計画期間内に設定する目標

特別支援教育のハード・ソフト両面にわたる環境を大きく充実させる

成果指標

社会的自立をするために必要な力を身に付けている障害児の割合
58.6% → 63%

施策5

郷土に対する理解を深めるとともに、国際社会で通用する知識やコミュニケーション能力を身に付けさせ、グローバル社会で生きる力を育みます。

めざす姿

子どもたちが日本人としてのアイデンティティに誇りを持ち、グローバル化がますます進む国際社会で他者と関わっていく力を育んでいる

計画期間内に設定する目標

グローバル人材を育成する教育を進展させるためのロードマップを描く

成果指標

授業で学習した英語を使って、自分のことや身近なことについて話することができる児童生徒の割合
児童54% 生徒47% → 各60%



中学校への外国人英語指導助手の派遣



●グローバル人材の育成

施策5の重点的取組



環境教育での体験活動



郷土学習ホームページ



博物館常設展を見学する児童

- 特別支援教育に関する施設・設備の充実
- 発達障害対応施策の推進

施策4の重点的取組



特別支援教育展(きらめき展)の様子



守山養護学校産業科の介護実習室



小中学校特別支援学級・特別支援学校連合運動会の様子

施策6 豊かな人間性と確かな指導力を持った教員を育成します

めざす姿

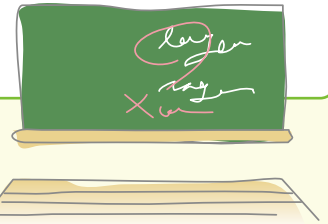
教員が使命感にあふれ、子どもたちを的確に導くことのできる力を身に付けている

計画期間内に
設定する目標

若手教員を中心に、自信を持って指導に当たることができる育成環境を整える

成果指標

「アイデアいっぱい楽しい授業づくり講座」
受講者による理解度・満足度の効果測定値平均(4点満点)
3.8 → 3.8以上



施策6の重点的取組

● 教師カステップ・アップ・ロード



魅力ある授業づくりの教員研修



教員志望の学生による学校での体験活動



教員採用予定者を対象にしたセミナー

施策7 教員が子どもと向き合う時間を確保し、教育活動の充実を図ります

めざす姿

教員が子どもと向き合う時間を十分に確保できている

計画期間内に
設定する目標

教員がより子どもに専念できるようなシステム改革を推進する

成果指標

教育委員会のさまざまな取り組みが子どもと向き合う時間の確保に有効であったと答えた教員の割合
— → 80%



学校事務支援センター(学校事務の適正化・効率化)

施策7の重点的取組

● 「元気な学校づくり」プロジェクト

施策8

安心・安全で快適に学ぶことができる環境整備を進めます

めざす姿

学校施設の安心・安全が確保されているとともに、充実した教育のための機能の維持・改善が進められている

計画期間内に設定する目標

計画的な整備を着実に進める

成果指標

大規模改造第4次計画(昭和55年以前に建設された棟)による整備
28万㎡完了 → 54万㎡完了

- 学校施設の計画的な改修・機能改善
- 教育施設の耐震改修

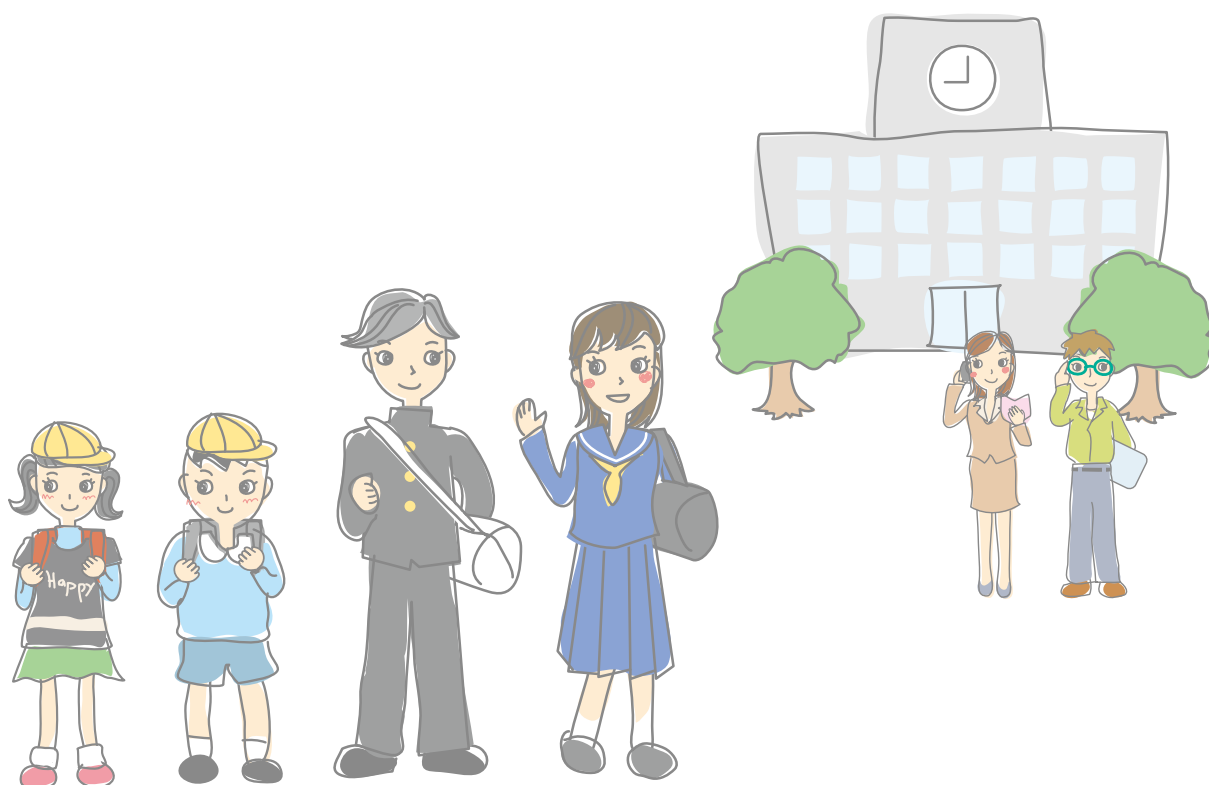
施策8の重点的取組



校舎の大規模改造



普通教室への空調設備の整備



施策9 いじめや不登校の未然防止と、早期発見・解決に取り組みます

めざす姿

いじめや不登校のない学校づくりが実践されているとともに、その芽の小さなうちに発見・解決が図られている

計画期間内に設定する目標

いじめや不登校の早期発見・解決に向けて体制を強化する

成果指標

いじめられたり、いじめを見たりしたとき、先生や家族、友達、相談機関に相談することができる子どもの割合
76.6% → 78%

児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数
11.9人(25年度) → 9.8人



施策9の重点的取組

- 子どもと学校を応援する新たな仕組みづくり
- いじめに対する取り組み
- 不登校に対する取り組み



「仲間づくり推進事業」でのいじめをなくす呼びかけ



ハートフレンドなごや(教育相談の受付)

施策10 多文化共生への教育を推進します

めざす姿

日本語指導の必要な児童生徒が名古屋の学校になじめるよう、的確な相談や支援の体制が構築されている

計画期間内に設定する目標

日本語指導の必要な児童生徒に対する相談・支援体制を着実に運用する

成果指標

日本語指導が必要な児童生徒のうち、「日本の学校になじむことができた」と感じている児童生徒の割合
90% → 92%



初歩的な日本語を教える「初期日本語集中教室」

施策11 学校規模の適正化を計画的に進めます

めざす姿

各学校において、子どもたちの学びや生活に適した学校規模や環境が整っている

計画期間内に
設定する目標

学校規模に課題がみられる学校において改善の取り組みを進める



統合により整備した笹島小・中学校(平成22年4月開校)

施策12 放課後や学校休業日におけるさまざまな活動、体験の機会を提供します

めざす姿

地域をはじめとしたさまざまな場で学びや活動・体験の機会があり、子どもたちが参加している

計画期間内に
設定する目標

地域における活動・体験の機会をさらに充実する

● 地域の力を生かした活動・体験の場の創出

施策12の重点的取組



土曜学習でのしめなわづくり体験



地域ジュニアスポーツクラブ



読書ノート

施策13 保護者負担を軽減し、多様な進路選択を支援します

めざす姿

子どもの就学に際し、適切な保護者負担の軽減が図られている

計画期間内に
設定する目標

適切な保護者負担の軽減を継続する

施策14 親子のふれあいと、家庭の教育力の向上を支援します

めざす姿

親子のふれあう機会が充実し、
親が安心して子どもの教育に
臨んでいる

計画期間内に
設定する目標

家庭における子どもの教育に役
立つ情報や機会を提供する

成果指標

家庭の教育力の低下を感じている市民の割合
41.1% → 40%以下



「親学」の普及啓発



ファミリーデーなごや



施策15

地域のつながりを大切にし、地域全体で子どもを見守り、育みます

めざす姿

子どもたちが地域の大人に見守られ、地域と関わりを持ちながら健やかに育っている

計画期間内に
設定する目標

地域が主体となって子どもを見守り、育む活動を支援する

成果指標

子ども安全ボランティアの登録数
80,000人 → 82,000人



あい・あい・あいさつ活動



スクールガードリーダーによる防犯指導の様子



施策の内容

施策16

地域に開かれ、地域と共にある学校づくりを進めます

めざす姿

学校が地域の人々の力を生かせる場になっている

計画期間内に
設定する目標

学校の地域への開放を進める

成果指標

運営サポーターの活用が有効であったと答えた教員の割合
75.8% → 80%

施策17 生涯学習の機会と場の提供・ネットワークづくりを進め、学ぶ楽しさや意欲を高めます

めざす姿

市民の多様なニーズに応えられる学習の機会や場が身近にある

計画期間内に
設定する目標

生涯学習に関するさまざまな機会や情報を提供する

成果指標

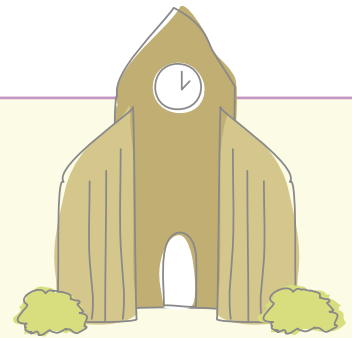
生涯学習に関する活動をしている市民の割合
34.2%(25年度) → 38%
図書館における市民1人当たりの貸出点数
5.41冊 → 5.7冊



名古屋市科学館



科学館プラネタリウム



鶴舞中央図書館



名古屋市美術館



施策18 学びの成果を社会に生かすことができるよう、支援します

めざす姿

生活の中に学びの成果を生かせる機会があり、自身の成長を実感できている

計画期間内に
設定する目標

市の事業において、市民が学んだ成果を生かし関わりを持てる機会を提供する

成果指標

学んだ成果を社会に生かしていると実感している市民の割合
26.9%(25年度) → 30%

施策19 名古屋の歴史や文化に根ざした魅力を大切に、活用・発信します

めざす姿

名古屋の歴史や文化の魅力を多くの人々が知り、関心や愛着を持っている

計画期間内に設定する目標

名古屋ならではの歴史や文化を取り上げ、内外に発信する

成果指標

博物館、蓬左文庫、秀吉清正記念館、美術館の入場者数
1,083,832人(25年度) → 1,200,000人(27~30年度平均)



歴史の里整備イメージ



しだみこちゃん



古墳見学



名古屋市博物館



名古屋の主な山車・山車行事

施策の内容



図書館案内ボランティア



博物館でのボランティアによるワークショップ





いじめはしない、させない、ゆるさない

いじめほっとライン24 0570-0-78310

名古屋市教育振興基本計画

平成27年3月策定

発行・編集 名古屋市教育委員会

お問い合わせ 名古屋市教育委員会事務局総務部企画経理課
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話 (052)972-3272

ファクシミリ (052)972-4175

表紙のイラストは名古屋市立工芸高校デザイン科2年 稲垣舞柚子さんの作品です。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を利用しています。